



OUTWARD BOUND
JAPAN

ビジョン2025 アクションプラン

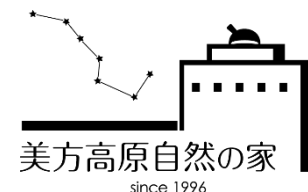
さらなる新しいキャンプの創造に挑戦

研究でつながる

尼崎市立美方高原自然の家と関西学院大学との共同研究から



公益法人日本アウトワード・バウンド協会
尼崎市立美方高原自然の家 西垣幸造





尼崎市立美方高原自然の家とは

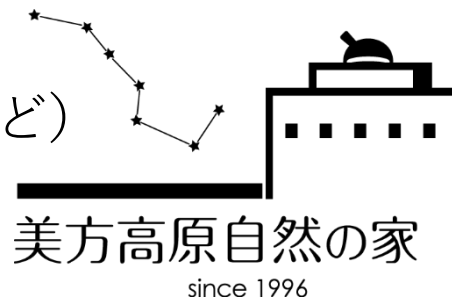
- ・ 尼崎市立全41小学校の自然学校推進事業（4泊5日）を受け入れ施設。
- ・ 主要事業の1つに「野外活動等における調査研究と情報提供」課題
- ・ より教育的効果の高い自然学校事業の支援の責務
- ・ 市教委と連携し、エビデンスをもって運営改善や開発を行う。
- ・ DX推進、GIGAスクールと連動して運営（自然の家の支援在り方）



打開策（つながり支援をもとめる、支援をうける、動き出す）

関西学院大学等との共同研究

自然の家単独の力では、課題解決はできない。（調査分析力・DXへの技術力など）





2020年度 共同研究準備期間：iPad40台、WIFI整備

2021年度 野外教育アプリの提供と影響調査 ARネイチャーラリー・ARアドベンチャーラリー

2022年度 ARネイチャーラリー英語・社会科バージョン（教科連携）カレーライスづくりアプリ
IKR調査の実施（尼崎市立全41小学校 小学5年生3,469人）

常陸大宮市立大賀小学校ARネイチャーラリー防災教育バージョン



文部科学省

コロナ禍でも安心安全自然体験ガイドブックにて、「ICTの活用や新たな自然体験活動の取組状況」として紹介

2023年度 HMD及び遠隔カメラを用いた遠隔体験の創出およびメタバース空間での体験創出に関する研究」

企業連携：東京コンピュータサービス株式会社

大学の卒業研究との連携調査協力3件（関西学院大学2件、大阪体育大学1件）

プラトーこのはな ARネイチャーラリー提供

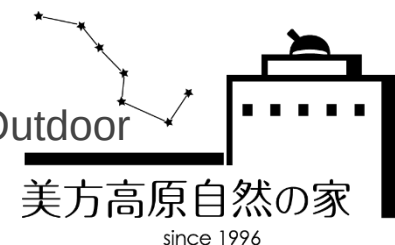
文部科学省（調査検討委員協力と活動の紹介）

令和4年度青少年の体験活動の推進に関する調査研究「自然体験を深めるデジタル技術の使い方事例集」「体験活動の質を高めるためのデジタル技術活用に関する調査研究」

各野外教育事業大会での実践事例・研究発表

野外教育学会大会、日本キャンプミーティング、関西野外活動ミーティング、
Education Research Conferenceなど

10thInternational Outdoor





OUTWARD BOUND
JAPAN

共同研究

2024年度 とちのきアートプロジェクト開催



- ・アーティストにとちのき村から受け取ったインスピレーションを、かたちづくっていただく
- ・アーティストの表現の魅力を、青少年が直接感じ、自らも表現を行う
- ・青少年に自然風景との接触と日常景観との接触とのオーバーラップを通じた感性の育む。

ART & CREATIVE CAMP 開催

デジタルマーケティングによる集客（高価値、高価格）

企業連携：株式会社ATARAYO

山梨県立金川の森公園

ARネイチャーラリー環境教育バージョン

親子で体験する
ART & CREATIVE CAMP
2024 夏

アート&クリエイティブ思考を育てる

主 催 尼崎市立美方高原自然の家
監修/現地指導 関西学院大学教授 甲斐 知彦氏

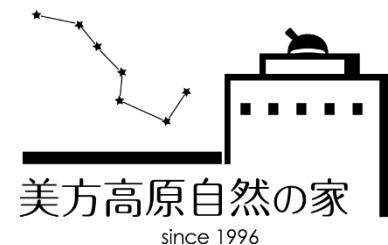
時 間 2024年 8月13日～8月15日 (2泊3日)
場 所 兵庫県美方郡香美町小代区新屋1432-35
尼崎市立美方高原自然の家
対 象 小学4年生～中学生の親子
定 員 15組30名程度 ※先着順
(総定員1人員20名)

関西学院大学
人間福祉学部 人間科学科 教授・医学博士 杉本(はるな)・メディア表現
甲斐 知彦 監修/現地指導

親子も学べる3日間



"AI時代"に必要なのは新たな価値を生み出す力！
学校で教えない野外教育を専門家が監修





研究でつながることで

研究者と事業者が、新たな体験の開発と体験の影響調査等に取り組む結果、

理解を深め合うことで、新たな課題について想像し、次への展開が広がる。

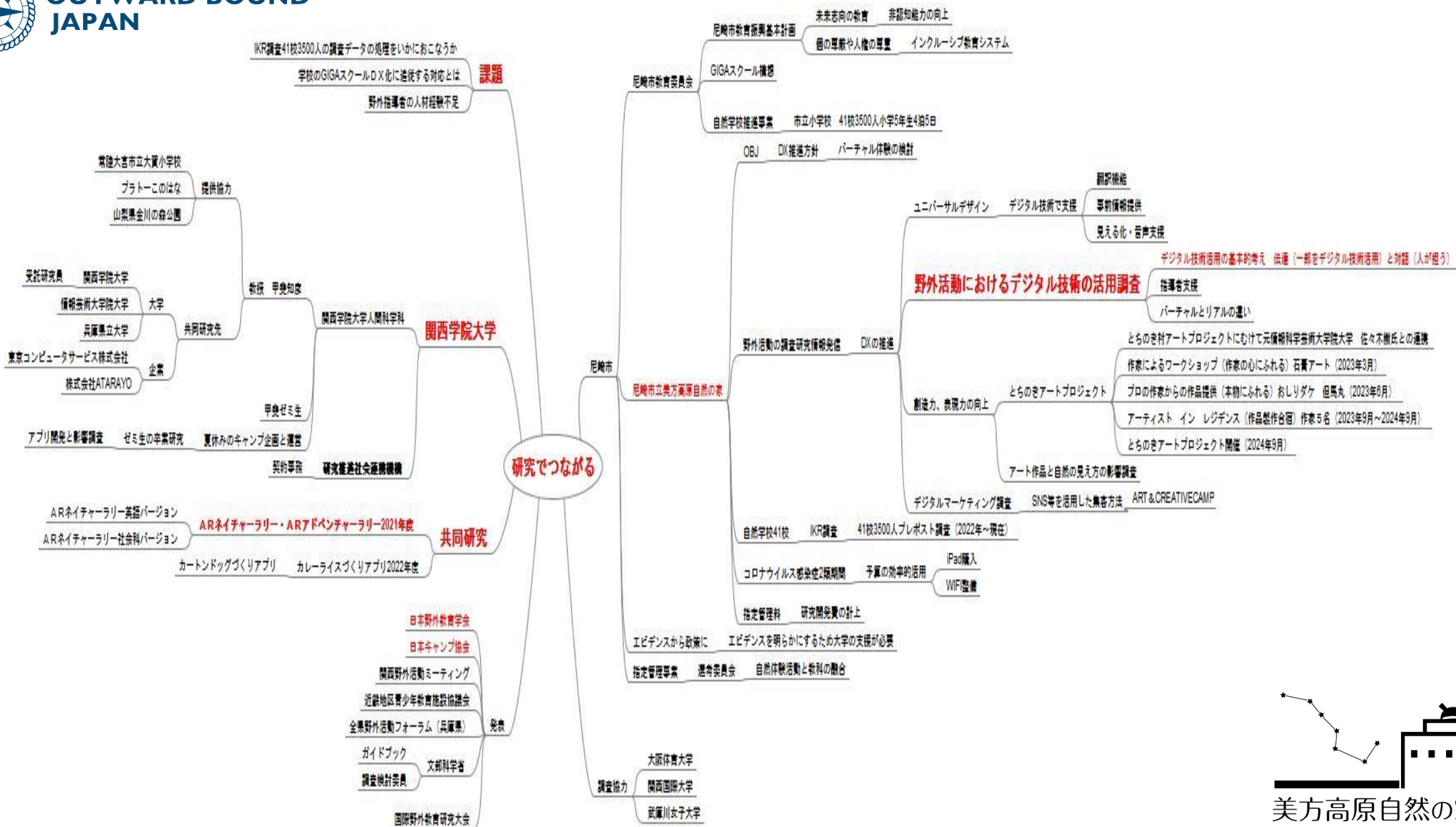
例

デジタル技術の活用⇒アートプロジェクトなど

アプリ開発⇒多彩なアプリの開発

とちのき村⇒複数の施設や事業者

大学連携⇒他大学＋企業





OUTWARD BOUND
JAPAN

ご清聴いただき、
ありがとうございました。

